



TOKYO GEIDAI

# 学長と話そうコンサート 和樹の部屋 特別篇

May new days come as soon as possible.

～ 新しい日常へ～



2020年8月2日(日) 15:00 開演

東京藝術大学奏楽堂

主催:東京藝術大学



昨年11月に東京藝大が誇る奏楽堂にゲストをお招きするトーク&コンサート「和樹の部屋」をスタートさせました。さだまさしさんを記念すべき第1回のゲストとしてお迎えし、満席のお客様とともに、素敵な音楽と箭内道彦教授を交えての抱腹絶倒のトークで大いに盛り上がりました。さださんの格別のご配慮で、演奏会収益を大学にご寄附いただくファンドレイジング・コンサートとして大成功のうちに終わることが出来ました。この演奏会がご縁で、その後も、さださんの最新アルバム「存在理由」の収録、そしてNHK「うたコン」での共演と続きます。8月2日に再び奏楽堂での共演が実現の運びとなりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は、奏楽堂にたくさんのお客様をお迎えすることは出来なくなりました。そこで、さださんともご相談し、6月9日にスタートした「若手芸術家支援基金」にご支援いただいた皆様への感謝と若手芸術家にエールを送る演奏会とさせていただきます。引き続き「若手芸術家支援基金」#Power to the Arts へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

東京藝術大学長  
澤 和樹

### 「和樹の部屋 特別篇」とは？

- ◆ 7月31日に終了したクラウドファンディングに、ご支援いただいた皆様への感謝を捧げるための「和樹の部屋」。
- ◆ 新しい日常におけるオフライン演奏会の在り方を、藝大がショーケースとして模索し披露するための「和樹の部屋」。
- ◆ コロナ禍におけるオンライン演奏会の在り方を、藝大が初披露するための「和樹の部屋」。
- ◆ クラウドファンディングの目標として掲げた「若手芸術家支援」実行の序章として、高らかにスタートを告げるための「和樹の部屋」。
- ◆ 音楽だけでなく、ステージの上だけでなく、美術、映像の要素も含んだ「オール藝大」を象徴する「和樹の部屋」。

### 「若手芸術家支援基金」#POWER TO THE ARTS



東京藝術大学は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、芸術活動に影響を受けている本学出身の若手芸術家に対して、芸術活動の持続化を支援するための「新型コロナウイルス感染症緊急対策 東京藝術大学 若手芸術家支援基金」を設置し、若手芸術家支援のためのプロジェクトを2020年6月9日より開始しました。社会にとって、世界にとって、芸術の力を未来へと繋ぐ希有な存在である若手芸術家たちの、今を救うこと、未来のカタチを模索すること、その二つがこの基金の使命です。本基金の推進や各プロジェクトの実施については、卒業生・修了生、在校生、保護者、教職員、同窓会、本学との関連企業など“オール藝大”で進めてまいります。各プロジェクトの実施については、東京藝術大学の自己財源に加えて、一般企業からの協賛金や東京藝術大学基金への寄附のほか、READYFORでのクラウドファンディングで集まった支援金を原資として活動を行います。

## 出演

主人：澤 和樹      客人：さだ まさし

プロデューズ・MC：箭内 道彦      パイプオルガン：廣江 理枝

### 和樹の部屋アンサンブル

1st ヴァイオリン：澤 亜樹   宮本 有里      2nd ヴァイオリン：村津 瑠紀   山本 有紗  
ヴィオラ：吉田 篤   麻柄 明日香      チェロ：寺井 創   加藤 菜生  
コントラバス：倉持 敦   ハープ：太田 咲耶      パーカッション：牧野 美沙



## プログラム

### 《 G 線上のアリア 》

作曲：J.S. バッハ      編曲：A. ウィルヘルミ

### 《 精霊流し 》

作詩・作曲：さだ まさし      編曲：松岡 あさひ

### 《 さだまさしの名によるワルツ 》

作曲：澤 和樹      編曲：松岡 あさひ

### 《 柊の花 》

作詩・作曲：さだ まさし      編曲：渡辺 俊幸 / 田川 めぐみ

— 休憩 —

### 〈 『天までとどけ』 アニメーション 上映 〉

作詞・作曲：さだ まさし      監督・制作：村田 朋泰

### 《 存在理由 ～Raison d'être～ 》

作詩・作曲：さだ まさし

### 《 償い 》

作詩・作曲：さだ まさし      編曲：田代 耕一郎 / 松岡 あさひ

### 《 風に立つライオン 》

作詩・作曲：さだ まさし      編曲：渡辺 俊幸 / 松岡 あさひ

※曲目・曲順などは変更となる場合がございます。ご了承ください。  
※会場では新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いいたします。





澤 和樹(東京藝術大学長、ヴァイオリニスト) Kazuki Sawa

1955年和歌山市生まれ。'79年東京藝術大学大学院音楽研究科修了。ロン=ティボー、ヴェニオアフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭メダル受賞など、ヴァイオリニストとして国際的に活躍。'90年、澤クワルテット結成。'96年、指揮活動開始。2004年和歌山県文化賞受賞。'15年、英国王立音楽院名誉教授。副学長、音楽学部長を経て、'16年4月より東京藝術大学長。



さだ まさし(シンガー・ソングライター、小説家) Masashi Sada

1952年生まれ、長崎県生まれ。'73年にフォークデュオ「グレープ」を結成、'76年にはソロシンガーとして活動開始。今年2020年アルバム『存在理由～Raison d'être～』、映像作品『さだまさしコンサートツアー2019～新自分風土記～』2形態を発売。2020年 全国コンサートツアーも決定している。又、「公益財団法人 風に立つライオン基金」設立者として様々な助成事業や被災地支援事業を行っている。



箭内 道彦(クリエイティブディレクター) Michihiko Yanai

1964年、福島県郡山市生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒。博報堂を経て、「風とロック」設立。タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」、リクルート「ゼクシィ」、FUJIFILM「PHOTO IS」、サントリー「ほろよい」、グリコ「ビスコ」など。福島県クリエイティブディレクター。2011年NHK紅白歌合戦に出場した猪苗代湖ズのギタリストでもある。現在、東京藝術大学美術学部デザイン科教授であり、学長特命(広報・ブランディング戦略担当)も務める。



廣江 理枝(オルガニスト) Rie Hiroe

東京藝術大学大学院オルガン専攻修了。DAAD(ドイツ学術交流会)奨学金を得てハノーファーならびにシュトゥットガルト国立音楽演劇大学に学び、ゾリステンクラス修了。オーデンセ、武蔵野市国際オルガン・コンクール最高位、シャルトル大聖堂国際オルガン・コンクール第1位および聴衆賞。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻教授・主任。(一社)日本オルガニスト協会理事。国内・海外での演奏・マスタークラス・コンクール審査多数。

主催：東京藝術大学

【自画像 展示】

監修：大巻 伸嗣(美術学部教授)、箭内 道彦(学長特命/美術学部教授)  
協力：熊澤 弘(大学美術館准教授) その他学生、教職員等有志

【平成伎楽団 展示】

鮫内 佐斗司(副学長/大学院美術研究科教授)

【ホワイエ展示『マイ・エクササイズ』】

コンセプトとアニメーション：和田 淳  
コード：薄羽 涼彌  
サポート：Playables(ミハエル・フライ & マリオ・フォン・リッケンバッハ)  
プロデュース：土居 伸彰(ニューディアー)

【『天までとどけ』アニメーション】

作詞・作曲：さだ まさし  
監督・制作：村田 朋泰  
協力：NHK Eテレ「うたテクネ」  
番組プロデューサー：倉森 京子(NHK エデュケーショナル)、岡本 美津子(副学長/大学院映像研究科教授)

【映像】

桐山 孝司(大学院映像研究科長)、栞原 寿行、上平 晃代、薄羽 涼彌(東京藝術大学 COI 拠点)

【音響】

株式会社 エス・シー・アライアンス  
片桐 健順、中川 正明、小島谷 貴之

【録音・録画】

録音：亀川 徹  
録画・映像編集：山田 香、岩崎 真、志野 文音、千葉 大雅  
配信：嘉村 哲郎

【コンサート】

演出補：植村 真 ステージマネージャー：小宮山 雄太、岩田 匡史  
インスペクター：高田 利英 ライブラリアン：真中 智美  
照明：株式会社 シグマコミュニケーションズ 撮影：進藤 綾音

制作：演奏藝術センター

発行：2020年8月2日(日)

編集：東京藝術大学演奏藝術センター

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 TEL:050-5525-2300

※無断転載・複写・引用などを禁じます。